

日本建築学会
ポリマーセメント系
塗膜防水工事
施工指針(案)
Aタイプ品質適合品
ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆



ポリマーセメント系塗膜防水材

SUPERFLEX® EV

スーパーフレックス イービー



建築防水用

日本セリノール防水事業協同組合
<https://www.japan-cerinol.com>

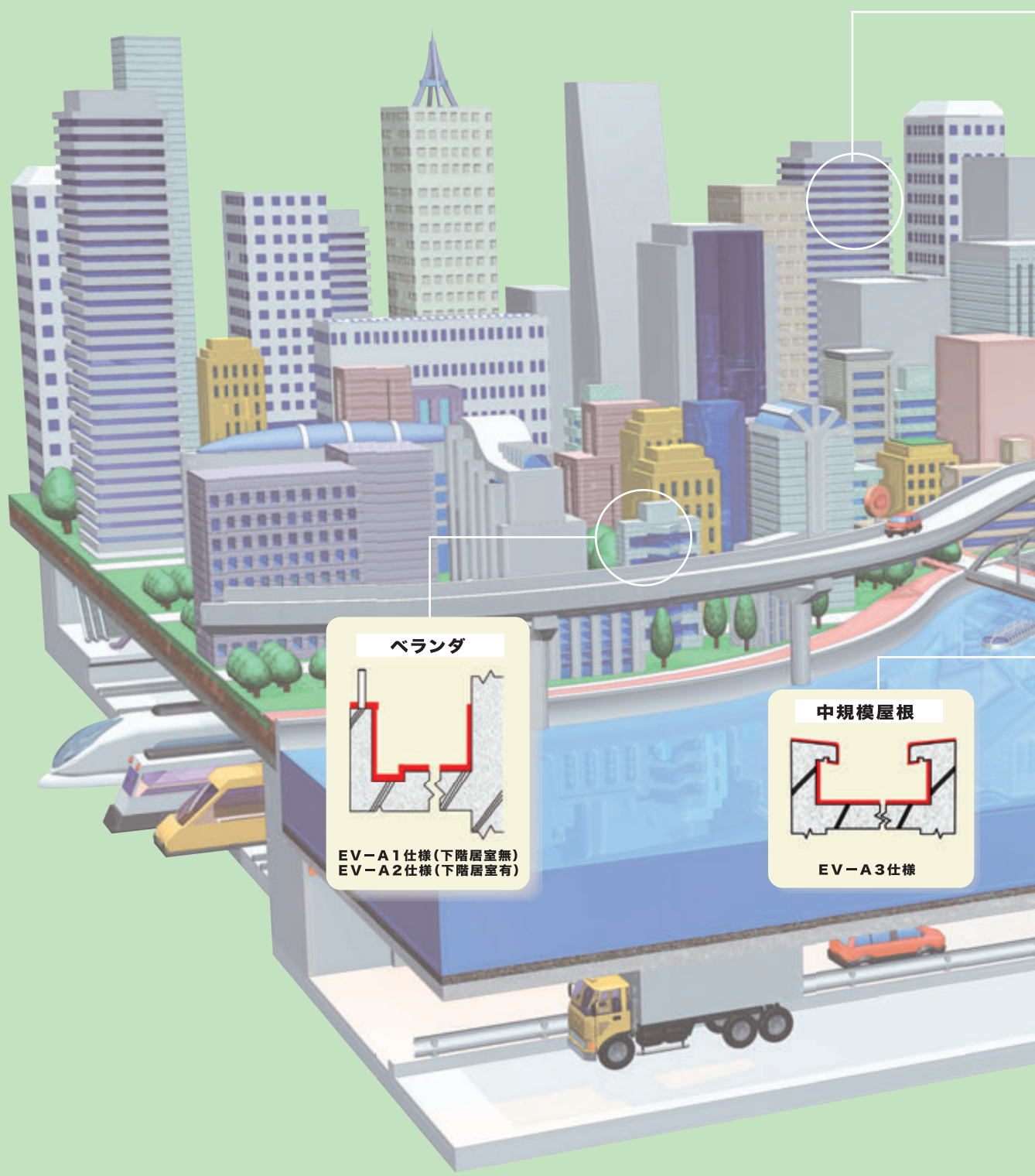
環境を守る安全・安心な防水。

ポリマーセメント系塗膜防水材料

SUPERFLEX® EV

迅速施工で、多岐に応じる塗膜防水材料スーパーフレックスEV

スーパーフレックスEVは、建築構造物を長期間の風雨による漏水事故から守るために作られたポリマーセメント系塗膜防水材料です。優れた耐久性と強力な接着性、そして強靱でありながら、ひび割れに追従性を持つ弾力性を兼ね備えた、進化した水系塗膜防水材料です。



塗膜性能

従来に無い優れた耐水・耐久性をもち強靱でかつ弾力性を兼ね備えた塗膜は長期にわたる防水性能を維持します。日本建築学会『ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)』に適合した塗膜性能を有します。

施工性

刷毛・コテ・ローラー・スプレー等での施工が容易にでき、湿潤下地や勾配下地への施工も可能で工期の短縮が図れます。

接着性

モルタル・コンクリート・鉄部・アスファルト防水・ウレタン防水等の各種下地に強力に接着します。また、湿潤コンクリートへの接着力にも優れた性能を発揮します。

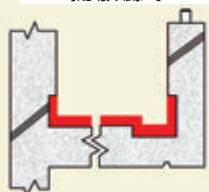
下地処理・ 仮防水機能

耐溶剤性に優れた塗膜性能を持ったため、他防水材との取り合い接着や、下地処理を兼ねた仮防水材としての工法機能を持ちます。

安心・安全

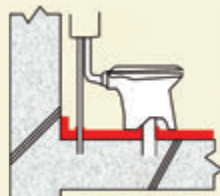
有機溶剤等の有害成分や可燃性分を一切含まないため施工にも安全で環境にも安心な環境対応防水材です。

開放廊下



EV-A1仕様(下階居室無)
EV-A3仕様(下階居室有)

トイレ・厨房
小規模浴室



EV-A3仕様

OAフロア
トレンチビット



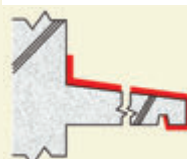
EV-A1仕様

サッシまわり



EV-A1仕様

ひさし



EV-A1仕様

地下内外壁
ピット 他

スーパーフレックスD2仕様
(別紙カタログ参照)

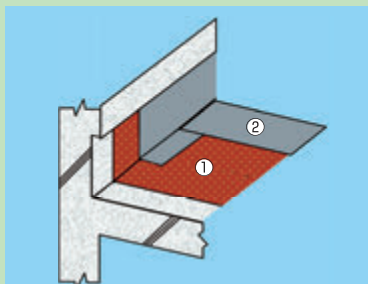
標準仕様

確かな防水工法で、適用箇所に合った各種標準仕様を推奨いたします。

※塗膜厚計算式：塗膜厚＝(全固形分×使用量)÷(硬化塗膜比重×100)

平均塗膜厚:0.5mm

EV-TE 工法



工法図例

工 程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2kg/㎡
②	スーパーフレックスEV	1.0kg/㎡

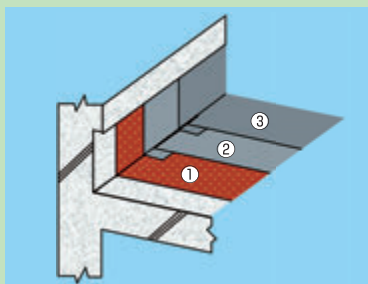
(仮防水仕様)

〔適用〕

下地処理仮防水、サッシまわり 等

平均塗膜厚:0.8mm

EV-A1 工法



工法図例

工 程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2kg/㎡
②	スーパーフレックスEV	0.7kg/㎡
③	スーパーフレックスEV	0.8kg/㎡
別途工事	SFTトップコート ※	0.4~0.6kg/㎡×2回

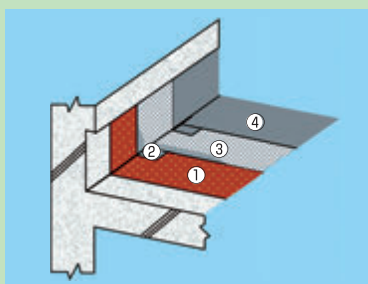
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-1仕様適合

〔適用〕

下階に居室がない床、ひさし、サッシまわり 等

平均塗膜厚:1.1mm

EV-A2 工法



工法図例

工 程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2kg/㎡
②	スーパーフレックスEV	1.2kg/㎡
③	UDMクロス	1.1m/㎡
④	スーパーフレックスEV	0.9kg/㎡
別途工事	SFTトップコート ※	0.4~0.6kg/㎡×2回

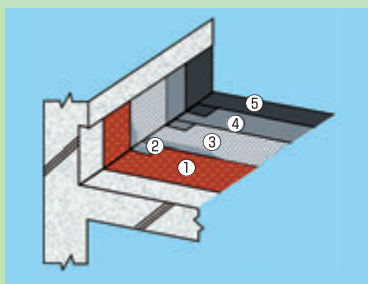
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-2仕様適合

〔適用〕

下階に居室のあるベランダ 等

平均塗膜厚:1.6mm

EV-A3 工法



工法図例

工 程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2kg/㎡
②	スーパーフレックスEV	1.2kg/㎡
③	UDMクロス	1.1m/㎡
④	スーパーフレックスEV	0.9kg/㎡
⑤	スーパーフレックスEV	0.9kg/㎡
別途工事	SFTトップコート ※	0.4~0.6kg/㎡×2回

日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)PA-3仕様適合

〔適用〕

中規模屋根、水まわり、下階に居室のある開放廊下 等

※押えモルタルで仕上げることも可能です。

物 性

スーパーフレックスEVは、施工性向上と共に高品質を追求いたします。

スーパーフレックス EV

ポリマーセメント系塗膜防水材

基 材	混和液：エチレン酢酸ビニル系樹脂
	粉 体：水硬性特殊粉体
色	グレー
配 合	混和液：粉 体=9：7（重量比）
荷 姿	混和液：18kg/缶 粉 体：7kg×2袋/箱
ポリマー混和液固形分	56%
全固形分	75%
硬化塗膜比重	1.23
粘 度	3000mPa・s
可使時間	約50分(23℃)



EVプライマー

スーパーフレックス EVを水にて希釈

配 合 比	
スーパーフレックス EV	混和液： 9kg
スーパーフレックス EV	粉 体： 7kg
水	6kg

セリノールPLUSプライマー



基 材	アクリル樹脂
色	乳白色
配 合	PLUS：水=1：10（重量比）
荷 姿	10kg/ポリ容器

UDMクロス

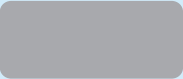
防水層補強用不織布

基 材	ポリエステル・ナイロン繊維
荷 姿	1050mm×100m



SFTトップコート

細骨材入り軽歩行用上塗り剤

基 材	細骨材入りアクリルエマルション系樹脂	
荷 姿	20kg/缶	
塗布間隔	3時間以上（夏季）	
	6時間以上（冬季）	
完全乾燥	24時間以上	
色	グリーン※	グレー※
		



※この色見本は印刷のため、実際の物とは多少異なる場合があります。

試験データ

スーパーフレックスEVは、確かな性能試験により品質形成されています。

基本物性試験

塗布膜厚：2.0mm

日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)Aタイプ

試 験 項 目			実測値	基準値
引張強さ （N／mm ² ）			1.5	0.6以上
破断時の伸び率 （％）			250	100以上
ゼロスパンテンション 伸び率 （mm） ※1	標準		3.3	2.0以上
	劣化 処理後	加熱処理	3.1	1.5以上
		アルカリ処理	3.7	1.5以上
付着強さ （N／mm ² ）	標準		1.9	0.5以上
	湿潤下地 ※2		1.8	0.5以上
	劣化 処理後	加熱処理	2.0	0.5以上
		アルカリ処理	1.5	0.5以上
		浸水処理	1.6	0.5以上
透 水 性 （水圧 0.29N/mm ² ）			0.1 （漏水なし）	0.5以下

※1 ゼロスパンテンション伸び率 乾燥膜厚：1.5～1.7mm)

※2 24時間浸水後、表面付着水を拭き取ったモルタル下地

試験機関:(財)建材試験センター

■補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水層の品質

塗布膜厚:PA-2に準ずる

試験項目			実測値	基準値
ゼロスパンテンション 伸び率 (mm) ※1	標準		6.5	3.0以上
	劣化 処理後	加熱処理	4.0	2.0以上
		アルカリ処理	4.9	2.0以上
付着強さ (N/mm ²)	標準		1.7	0.5以上

※1 ゼロスパンテンション伸び率 乾燥膜厚：1.5～1.7mm)

試験機関:(財)建材試験センター

※上記性状及び特性は代表値で、記載値を保証するものではありません。

施工方法

施工条件に合わせ、適応する施工方法を選択できます。



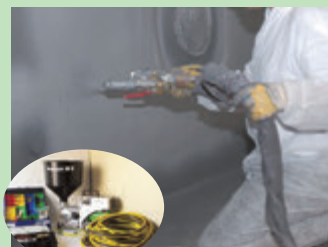
コテ塗り施工



ローラー塗り施工



刷毛・左官ブラシ塗り施工



吹き付け施工

施工工程



① プライマー塗布

下地の清掃・処理後、スーパーフレックスEVの混和液9kgと粉体7kgを混合・攪拌した物に、さらに水6kgを投入し再度攪拌した物、またはセリノールPLUSを水で10倍希釈した物をローラー・刷毛等で0.2kg/㎡均一に塗布します。



② 下塗り

スーパーフレックスEVの混和液9kgに粉体7kgを徐々に入れながら、攪拌機で均一になるまで攪拌し、ピンホールが発生しないように均一に塗布します。

○夏場などの高温時は水を5%（混練り時の重量比）添加することが可能です。



③ 補強クロス貼り

下塗りが乾燥しないうちに、UDMクロスをローラーで押さえ貼り付けます。



④ 中塗り/上塗り

スーパーフレックスEVの混和液9kgに粉体7kgを徐々に入れながら、攪拌機で均一になるまで攪拌し、UDMクロスに含浸するように均一に塗布します。

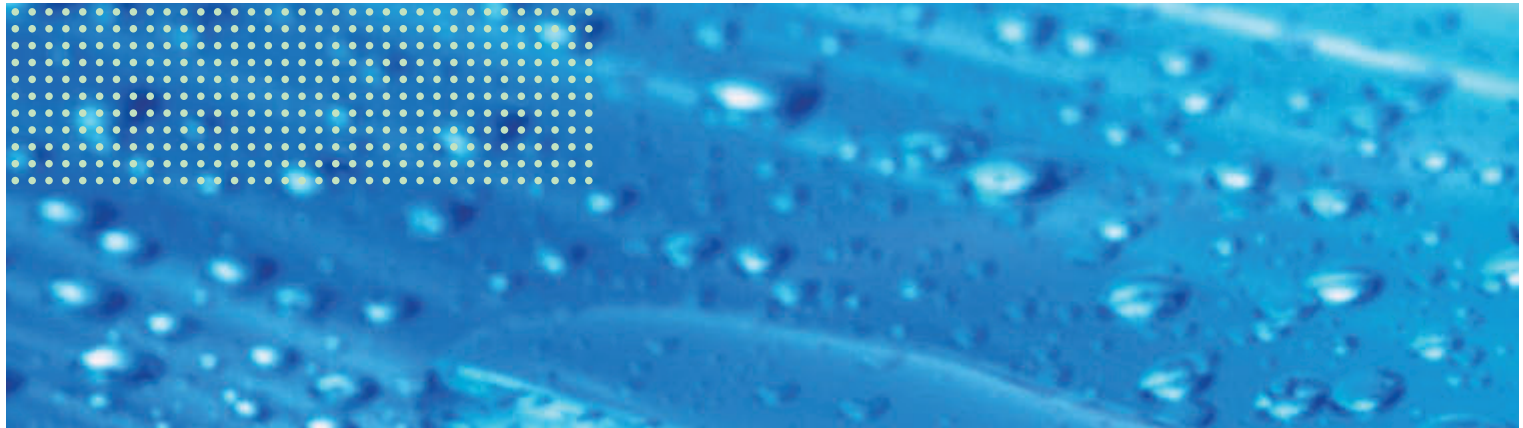
○夏場などの高温時は水を5%（混練り時の重量比）添加することが可能です。



トップコート塗り(別途工事)

防水層の保護仕上げ材として、SFトップコートをローラー・刷毛等で均一に塗布します。

※入隅部に材料溜まりがある場合、ひび割れが生じる可能性がありますので硬化前に刷毛などで平滑に仕上げて下さい。



施 工 上 の 注 意

- 混練容器に液体を入れ、粉体を徐々に添加しながら だま がなくなるまで十分に攪拌して下さい。
- 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- 乾燥したコンクリート躯体に直接スーパーフレックスEVを塗布しないで下さい。
- コンクリート躯体表面に結露が発生している場合は塗布しないで下さい。
- スーパーフレックスEVは低温、高温での保管を避け、湿気のない場所で保管して下さい。

詳しくは、別紙「施工要領書」をお読み下さい。

茶谷産業株式会社 建材グループ

<https://www.chatani.co.jp>

本 社: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番43号
TEL. (06)6397-2080 FAX. (06)6397-2166

東京支社: 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-8-7 オー・ジー東京ビル
TEL. (03)6667-2364 FAX. (03)6667-2370

組 合 員

